



四国税理士会報

第436号
2022.6.10

●発行所 / 四国税理士会
高松市番町2-7-12
電話 087(823)2515(代)

●発行人 / 浜崎 友二
●編集人 / 秋山 千枝
●ホームページ / <https://www.shikoku-zei.or.jp>



大鳴門橋（おおなるときょう）

撮影者 丸亀支部 秋山 佳弘

主な記事

部・委員会だより ～業務対策部～
令和3年度租税教室特集
広報部ニュース

 あなたの暮らしのそばにいる
四国税理士会



ホームページのQRコードはこちら

|||| 広報部ニュース |||||

職業見学会の開催

in 高知

「職場見学会を終えて」

宮崎 康平（高知）

四国での職場見学会の開催も、イベントを私自身が計画して実施することも初めての事として、本当に私が携わってよいものか非常に不安でしたが、関わって下さった皆様のおかげで何とか無事に実施することができました。

今回の開催にあたっては、参加して頂く学生さん及び学校側に不満を感じさせない事を第一に計画を進めました。高知県広報部のメンバーは裏方に徹し、出来るだけの事はやったつもりです（それでも抜かりがありました）。事後のアンケートでは概ね良好な回答を頂くことができ一安心しましたが、この企画をこれで終えることなく、高知県の学生さんの就職活動の一助になれば、また求人希望の税理士事務所にとっても就職希望の学生さんとの窓口になれるよう、この企画を高知県単体でも継続できればと考えています。



宮崎会員の解説

「職場見学会 感想・体験談」

川田 史衣（高知）

高知で職場見学会を開催しよう、という話をいただいたのは、去年の夏頃の事だったでしょうか。

過去に南九州税理士会が開催した職場見学会の資料に目を通しましたが、これは無理、大変だ、と思った事を覚えております。それでも宮崎会員が一から計画を練り上げ、職場見学会の会場となる金本高知支部長にも快諾していただき、学生さんが来て良かったと思える見学会にしようとして広報部委員全員で話し合い、なんとか手探り状態の中、3月25日に職場見学会を開催することとなりました。

当日、会場の県民文化ホールに集まった学生さん達は皆さんスーツで、想像していたより大人びて落ち着いている印象でした。お友達同士では楽しく談笑されていましたが、集合時間に迎えに行くと皆さんピシッとなり、ビジネスマナーをきちんと学んでいるのだと感心しました。

初めてのイベントでこちらも緊張、学生さんたちももちろん緊張する中、橋本高知県連会長の挨拶に続いて宮崎会員から税理士とはどんな職業なのかの説明があり、その後、見学会場の金本税理士事務所に学生さんをご案内しました。

見学先では、金本先生に税理士事務所の在り方や仕事に対する姿勢をレクチャーして頂き、質問コーナーでは税理士事務所に対する疑問・質問に答えて頂き、学生さんや引率の先生、さらには私までもが大変貴重な経験をすることができました。

これから社会人を目指す学生さんにとってこの職場見学会が、少しでも今後の就職活動に役立ちましたらこんなに嬉しい事はありません。そして税理士という職業、税理士事務所という職場をアピールできる有意義なイベントになったと思います。



橋本県連会長の挨拶

「職場見学会体験談」

岡本 友彦（高知）

職場見学会では終盤の生徒さんのご案内や質疑応答の進行役をさせていただきました。段取り等ほぼなしの行き当たりばったりで担当させていただきましたが、「税理士事務所の見学」という、はじめての体験をしてきたばかりの学生さんの高揚した熱い気持ちが私にも伝わってきました、もっと長時間、いろいろな事を話したかったです。コロナ禍の状況でなければ、引率で参加して下さった参加校の先生方も交えて（高知らしく）その後の打ち上げを盛大に行い、腹を割って話してみたかったですね。参加校も学生さんもそして税理士会の広報活動としても大いに意義のある取組みだと思しますので、今後も続けていきたいです。



岡本会員の質疑応答

「職場見学会体験談」

金本 康（高知）

初めてのことなので、高知県広報部の皆さんと相談しながら手探りの準備になりましたが、事務所内を簡単に案内→会議室に移動→税理士事務所の日常業務について軽く説明→質疑応答という流れで実施しました。事前に生徒さんからの質問事項に目を通し、事務所のスタッフと一緒に回答を作成し、当日、スタッフからのメッセージとして皆さんにお伝えしました。

全体的に興味を持って聞いてくれて、その場での質問も結構ありましたので反応は悪くなかったと思われます。

今回は専門学校生徒さんたちでしたが、皆さんがとても礼儀正しく、非常に良い雰囲気の中で実施できました。今後もこのような交流の場を作っていけたらと思います。



金本事務所での解説



集合写真1校目



集合写真2校目

令和3年度租税教室特集

高等学校

収入からの納税をしていない高校生に、どういう風に税金の話をするか悩みました。重点を置いたのは、なぜ税という仕組みが必要で、その税金がどのように使われているのか？という部分です。

給与を貰いだして税金が天引きされた際に「取られた」と感じることはごくごく普通のことですが、それは少し切ないです。ですので、我々は税金を「払っている」のだという感覚を持ってほしいと思いました。自分の生活を含め、社会全体が良くなるためや、本当に困っている人たちの為に税金が使われている。その感覚があれば、納税の感覚も違って来るかもしれません。少しでも届いていればありがたい限りです。

(柳生 絃明 会員)

昨年は新型コロナウイルス感染症のため開催が中止となり、2年ぶりの租税教室でした。担当の先生も同じで生徒も少なく、和やかに講義ができました。いつものようにクイズを出し（ねえねえ知ってるーとチョコちゃん風に）、ほとんど生徒も眠ることなく聞いてくれました。

少子高齢化社会で、社会保障費が増加している理由として医療費の税負担の仕組み、人口ピラミッドを使っての高齢化社会の現状をなんとか説明できたと思います。税金は「取られる」でなく、「納める」であり、「納税者」という言葉を伝えることができました。

(北添 隆広 会員)

令和3年11月8日、愛媛県立内子高等学校の3年生全員（87人）を対象とした租税教室講師を務めました。

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染防止の観点から、1クラスで租税教室を実施し、他の2クラスへは同時配信を行いました。

教材は、国税庁広報広聴室作成の「くらしを支える税」を独自加工したコンパクト版資料を配付するとともに、パワーポイントや財務省作成の動画を活用して、ポイントポイントで生徒の皆さんにも意見を出してもらおう生徒参加型で進行しました。加えて、高校卒業後就職される生徒もいることから、「所得税確定申告の手引き」を活用して、源泉徴収制度や累進課税制度についても解説しました。

最後まで目を輝かせて熱心に聴いていただくとともに、私の質問にも積極的に回答していただいた生徒を見て、大変頼もしく思いました。

当日は、多くの先生方にも聴講していただき、「財政の現状、税の種類と役割、検討すべき課題が良く理解できました。教師としても大変勉強になりました。主権者教育にも大いに役立ちました。」との感想をいただきました。

後日、担当の先生から受講した生徒の皆さんの感想と質問事項が届きました。改めて、生徒の皆さんの関心の高さを認識し、質問には真摯に回答を作成してフィードバックしました。

(赤穂 英一 会員)



赤穂 英一 会員（愛媛県立内子高等学校）



三浦 文昭 会員 (徳島県立国府支援学校)

- ①事前に打合せ及び授業見学を行うこと
- ②マスク着用などのコロナ対策を守ること
- ③就職予定者が10名いるので、特に給料から源泉される所得税・住民税に対する理解が得られるよう授業を行うこと—を留意して実施しました。

「今晚は税金の夢を見そうだ」と言っていた生徒もいましたので、税金に対する興味と理解を深めてくれたと思います。生徒はクイズに参加し、最後まで授業に集中してくれました。先生方の御協力にも感謝いたします。

(三浦 文昭 会員)



猪俣 知也 会員 (香川県立小豆島中央高等学校)

ゲーム (税金の集め方) を通じて、こうへいという概念の多面性を気付いてくれたものと思う。

また、Web-TAX-TV (国税査察官の仕事) を興味深く見ていた。

(猪俣 知也 会員)

視聴覚教室において、生徒1人1人に1台のパソコンディスプレイに日税連パワーポイント教材を利用したの開催でした。今まではプロジェクターに投影しての開催だったので、教育現場のデジタル化を感じました。生徒の半数以上が就職ということで、租税の基本的な説明および先生の要望で、源泉徴収票の見方等についても説明しました。オミクロン株の急拡大により開催自体が危惧される中、無事終了することができました。

(山田 達彦 会員)

特別支援学校

主に知的障害の生徒のため小学生向けの教材を使用。「税金ってなんだろう、どこで役立っているかな、なかったらどうなるかな」など、生徒に発問し、コミュニケーションを取りながら授業を進めた。生徒によるパネルの貼り付け (動きのある授業) やグッズ (札束) を活用して飽きさせない工夫をした。

また、就職や選挙にも触れ、身近な子との認識を深めた。全体的にゆっくり分かりやすい言葉で説明することを心がけた。

(橋本 峰人 会員)

社会人・その他

贈与税の非課税特例をテーマとした講義であったが、高齢者が多く非常に興味深く真摯な受講姿勢だった。

(茅原 哲生 会員)

四国税理士共済会事業



税理士報酬専用商品 報酬口座振替システム

ご利用料金	
項目	ご利用料金(別途消費税)
基本手数料(月額)	1契約(1振替日)につき 2,000円
委託手数料	請求1件につき 110円

※請求がない月には、ご利用料金は発生しません。

簡単で使いやすい
インターネットによるデータ入力で臨時報酬にも対応可能です。

報酬額に対する源泉税額・消費税額の自動計算機能を搭載

振替日は8日、22日のどちらかを選択

※振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日に口座振替を行います。

NSS より朗報です

- 報酬口座振替システムを「ご利用中」or「新規ご加入」の事務所を対象とした「関係法人用一般Eタイプ」のお取扱いを開始!
- 会員が役員である「会計法人・コンサルティング」などの法人がご利用いただけます。
- 当商品は上記報酬口座振替システムと同じ割安な料金設定!【基本手数料 2,000円+請求1口座につき 110円】

関与先さま向け 口座振替利用先紹介制度

- ご紹介先が口座振替をご利用いただいた場合は、会員さまに2万円の紹介手数料をお支払いいたします。
- ご利用開始3ヵ月目の請求口座数が100口座以上の場合、会員さまにさらに2万円の紹介手数料を追加支払いいたします。

ご利用料金	
請求1回あたり	ご利用料金(別途消費税)
100口座未満の場合	7,500円+35円×請求口座数
100口座以上の場合	110円×請求口座数

ご利用例 (別途消費税)

請求口座数	ご利用料金	1口座あたり
30	8,550円	285円
50	9,250円	185円

※請求がない月には、ご利用料金は発生しません。

このような業種の皆さまによくご利用いただいています!



振替日は8日、22日、27日のいずれかを選択

※振替日が金融機関休業日の場合は、翌営業日に口座振替を行います。

資料のご請求はスマホでもOK!

※ご契約にあたって日本システム収納による所定の審査があります。

制度運営者
四国税理士共済会
〒760-0017 高松市番町2丁目7番12号
TEL(087)823-2515

お問合せ先
【委託先会社】
NSS 日本システム収納株式会社
大同生命グループ
大阪本店 〒564-8523 大阪府吹田市江坂町1-23-101 大同生命江坂ビル
TEL:06-6386-8526

新規お問合せ専用フリーダイヤル
0120-700-676
フリーダイヤル (平日9:00~12:00, 13:00~17:00)

日本システム収納